



対馬丸記念館と、遺族・サポーターを結ぶ、ふれあいの情報誌

対馬丸 通信

発行：(財) 対馬丸記念会
発行人：高良 政勝
編集：対馬丸記念会事務局

Tsushima maru press

平成 22 年 3 月 25 日発行 第 20 号

開館五周年記念号 2004.8.22 ~ 2009.8.22

開館五周年をかえりみて

思えば昭和三十三年に疎開船 対馬丸遭難学童遺族会と小桜会が統合され、以来小桜の塔を中心に活動をしてまいりました遺族会が、平成九年に悪石島沖で対馬丸が発見されたのをきっかけに、平成十三年に財団法人対馬丸記念会に改組され今日にいたっています。

発見時、国に強く対馬丸引き揚げを要請しましたが、老朽船ゆえ引き揚げ不可能という結論から、代替案として対馬丸記念館の建設が決まり、平成十六年八月二十二日に記念館が開館したのはご承知の通りです。

対馬丸記念館建設に至る前史として、遺族会を先頭になって牽引し、りっぱな組織としての礎を築かれた新里清篤元会長による犠牲学童の処遇問題への取り組み、さらに喜屋武盛榮元会長時代に沈没位置特定への度重なる陳情から政府も重い腰を上げ、探索から発見へと今日への道筋をつけていただきました。その後を継いだ上原妙前会長の財団への改組と記念館建設への取り組みなど、歴代遺族会長の

ご努力で今日に至っております。このような経緯を経て昨年の八月に開館五周年を迎えました

が、開館後もあら波を行く船のような厳しい航海でした。まず取り組まなければならなかったことは、対馬丸記念館を対外的に知らしめる広報活動からでした。ご

存知のように、大城立裕先生の書かれた「対馬丸」と、それをもとにしたアニメ「対馬

丸」さような沖繩―がある程度世間に知れ渡っており、対馬丸のことは「知っている」とおっしゃる方はそれなりにいますが、記念館ができたことはいま



た。それゆえにいかに世間に話題を提供し、マスコミに取り上げていただくか腐心してまいりました。

五年間の主な出来事は、次のページに掲載致します。写真では報告出来ませんが、本土からの修学旅行や、県内の学校から見学と同時に千羽鶴を奉納していただくなど、平和学習で多くの学生・生徒のみなさまに本館を訪れていただきました。

また、数々の平和関連の特別展も沖繩県平和祈念資料館をはじめとした関係機関のご協力で実施してまいりました。

五周年事業として、小桜の塔、悪石島慰霊碑、悪石島沖の三ヶ

財団法人対馬丸記念会

会長 高良 政勝

所での慰霊祭、館内展示の一部変更も無事終了いたしました。

記念館の窮状を救って戴きました、シャンソン歌手のしませえ・よしおさん、(株) 山田養蜂・山田英生社長様や、元宝ジエンヌ大浦みずきさんのご遺族からの御篤志も忘れられません。また、県内からも沖繩県女師・一高女ひめゆり同窓会初め各団体・個人からも多くの御篤志を頂戴致しました。このように皆様の善意に支えられた五年間でした。

対馬丸記念館の課題である来館者増の施策としては、子供の犠牲を中心とした平和施設であることから、県内の学生・生徒の来館見学を平和学習として義務化できないか、関係機関に働きかけておりますが残念ながらいまだ実現しておりません。財団としては今後も粘り強く取り組んでいく所存です。

開館以来対馬丸を支えていただきました皆様衷心より感謝申し上げますと共に、倍旧のご支援ご協力をお願い申し上げます。

族・サポーターと共に、 夢を伝え続けます。



悪石島沖の海底で対馬丸が発見されてから、6年、撃沈から60年目の開館でした。以来5年間、多くの人に支えられ平和を発信し続けました。5年間の主な出来事を写真で振り返ります。



2005.4.8 橋本龍太郎元総理来館



2005.6.6 千玄室氏〔第15代千宗室〕来館



2003.11.22 悪石島の対馬丸慰霊碑群（右から縁起碑、美たま碑、地藏尊、観音像）



2007.12.15 岸田文雄沖縄担当大臣来館



2009.8.22 悪石島慰霊の旅で海上慰霊祭を行う



2004.12.15 ボーフィン号乗員と生存者上原清氏が初めて対面する



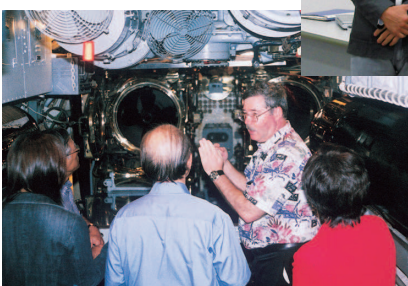
2003.10.22 対馬丸記念館起工式



2008.10.11 (株)山田養蜂場、山田英生社長より多額の寄付を頂戴する(左)



2008.3.5 対馬丸チャリティーコンサート「しますえ・よしおシャンソンの夕べ」



2004.2.22 ハワイボーフィン号調査(魚雷発射口)



2003.8.15 開館プレイベント「60年後の出航に向けて」開催



2007.11.7 映画「銀の鈴」製作発表会



2006.9.23 館外へも平和活動が広がる(沖縄尚学高校学園祭にて)



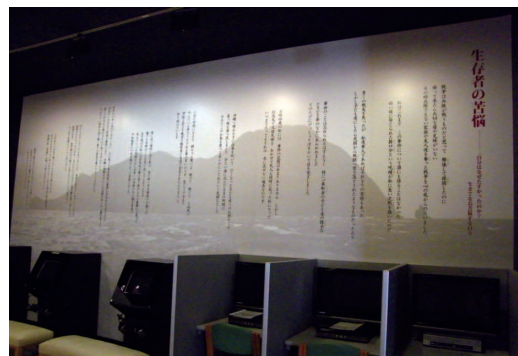
2004.8.22 悪石島小中学校に「命どう宝」扁額贈呈(稲嶺法子氏揮毫)



募集した平和の約束の特別展開催



2004.8.22 撃沈時間に合わせて、初めて夜間追悼式を行う(2006年まで実施)



2009.8.20 五周年で展示を一部改訂、生存者の苦悩を掲示する

船体船体発見からの主な出来事

- 1997 12 12 船体発見
- 2001 07 04 財団法人対馬丸記念会設立
- 2003 08 15 開館イベント ～60年後の出航に向けて～
県立郷土劇場にて
- 2003 10 22 対馬丸記念館起工式
- 2003 11 21 悪石島・奄美大島資料収集 27日まで
- 2004 02 22 ハワイボーフィン記念館視察・資料収集
28日まで
- 2004 06 09 対馬丸記念館竣工式典
- 2004 08 15 遺族説明会並びに記念館展示内覧会
- 2004 08 22 対馬丸記念館開館
第52回対馬丸慰霊祭
対馬丸追悼式午後10時12分記念館屋上にて
第1回企画展「平和の約束」8月31日まで
- 2004 10 13 対馬丸記念館に表札を掲示
揮毫：茅原南龍先生（茅原書藝会主宰）
- 2004 12 15 生存者上原清氏、ボーフィン号元乗員ジョセフ・
ノックス氏と面談
- 2005 03 01 第2回企画展「石田壽長崎原爆写真展」
協力：長崎原爆資料館・ゆたかはじめ
3月31日まで
- 2005 06 23 第3回特別展「対馬丸調査と深海の神秘
展」企画：独立行政法人海洋研究開発機
構 国際海洋環境情報センター
8月31日まで
- 2005 08 20 対馬丸記念館ガイドブック発行
- 2005 08 22 平成17年対馬丸慰霊祭
開館1周年記念行事
対馬丸追悼式午後10時12分記念館屋上にて
入館30,000人達成
- 2006 01 13 第4回特別展「沖繩戦後の復興展 Part 1」
協力：琉球歴史研究会 4月30日まで
- 2006 03 01 第5回特別展「沖繩戦後の復興展 Part 2
—私たちはこのようにして立ち上がった—」
共催：琉球新報社 資料提供：沖繩県立博
物館・うるま市石川歴史民俗資料館・壺屋
焼物博物館・諸見民芸館・久手堅憲俊・安
次富長昭
- 2006 06 23 平成18年対馬丸慰霊祭
対馬丸追悼式午後10時12分記念館屋上にて
上原清著「沈む」発行
- 2006 08 22 対馬丸記念館周辺の旭が丘公園に蝶の食草
六百本を植栽 協力：首里城下にチョウを翔
ばそう会（高良鉄夫会長）
- 2007 05 27 第8回特別展「沖繩戦時下の住民—かくし
て沖繩は戦場となった—」協力：沖繩県平
和祈念資料館 8月29日まで
- 2007 06 23 いしがき児童合唱団平和コンサート
（指揮 砂川富貴子）企画展示室にて
平成十九年対馬丸慰霊祭
- 2007 08 12 対馬丸記念館「語り部養成講座」開講
10月・11月の土・日曜日 全11講座
- 2007 10 映画「銀の鈴—対馬丸へのレクイエ
ム—」制作発表会 監督：齋藤勝 製作：
劇団 ARK・銀の鈴製作委員会
- 2007 11 07 対馬丸記念館チャリティーコンサート
「しますえ・よしおジャンソンの夕べ」
主催：対馬丸記念館チャリティーコンサ
ート実行委員会（尚弘子会長）
浦添市てだこホールにて
- 2008 03 05 「平和の舞台」対馬丸公演～海底の友へ～
脚本・演出・音楽・出演：ピースメッセンジャー
肝高（PMK）監修：平田太一 企画展示室にて
第10回特別展「対馬丸と疎開～やーさん・
ひーさん・しからーさん～」8月30日まで
- 2008 03 09 平成二十年対馬丸慰霊祭
（株）山田養蜂場の山田英生社長より対馬丸
記念館の平和活動に役立てて下さいと多額
の寄附を頂戴する
- 2008 07 20 （財）沖繩県女師・一高女ひめゆり同窓会より
リニューアル資金にと寄付金を頂戴する
- 2008 08 22 館内展示リニューアル終了
- 2008 10 11 平成二十一年対馬丸慰霊祭・悪石島慰霊祭・
悪石島海上慰霊祭
- 2009 08 13
- 2009 08 20
- 2009 08 22

多くの人に支えられた、5年間。遺 これからも、子どもたちに 平和と



2005.6.23 小泉総理大臣、小池沖繩担当大臣来館



2008.08.16 秋篠宮ご一家にシンボルのラ
ンドセルについてご説明（新宿にて）



2004.10.13 対馬丸記念館表札掲示



2007.4.20 対馬丸の
海底調査を指示した、
元沖繩開発庁長官鈴木
宗男代議士来館



2009.8.13 ひめゆり同窓会より寄付金をいただく



2006.1.13 対馬丸記念館入館者3万人
達成。岐阜県立東濃フロンティア高
校2年生内田優花さん（上）



2003.11.22 悪石島を調査訪問、同
島の代表者に感謝の花束を贈呈（右上）



2009.8.22 平成22年度慰霊祭



2001.7.4 財団法人 対馬丸記念会設立



2006.6.23 第5回特別展「沖繩戦後の復興展 Part 2」開催



2007.5.27 旭が丘公園周辺に蝶の食草を植栽（右上）以来毎年慰霊祭にてオオゴマダラ放蝶



2004.8.22 県内から

対馬丸記念館運営日誌

視察

□ 8月26日

日本共産党志位和夫委員長が衆議院選挙の応援で来沖、街頭演説前の忙しい時間をさいて記念館を



訪れ、館内を見学後、高良政勝会長と懇談しました。志位氏は「間違っていてひきおこした侵略戦争の犠牲が一番弱い子どもにしわ寄せられると。こんな残酷なことはない。二度と戦争は繰り返してはいけません」と改めて思いました」と感想を寄せられました。

□ 12月16日

内閣府沖縄総合事務局竹沢正明局長が来館、高良会長と記念館の現状などいろいろな課題を話し合



われました。

□ 1月29日

厚生労働省社会・援護局援護企画課吉野隆之課長、同援護企画課手塚直樹経理係長

□ 1月29日

内閣府沖縄振興局特定事業担当参事官室専門官藤将由事務官、同参事官(特定事業担当)付矢島謙一郎主査

イベント

□ 10月4日

第12回特別企画展「対馬丸の航跡と疎開資料展」が沖縄県平和祈念資料館の疎開資料の提供を受け開催されました。同時に対馬丸研究家の當間榮安氏による対馬丸航跡研究の成果も披露され、会期初日に當間氏を講師に迎え、特別講話も行われました。



□ 12月6日

第13回チャージがんじゅー講座「島人(シマンチュ)の肝心(チムゲクル)」が昨年の好評を受け、美ら島観光バスガイド崎原真弓さんを講師に迎え開催されました。

□ 12月16日

第13回特別企画展「対馬丸児童

に捧ぐ」世界の子どもの創造性あふれる作品が企画展示室一杯にあふれました。

□ 2月21日

第14回チャージがんじゅー講座「Janne 17歳が語る「地球から戦争が消える日」が開催されました。自らを小学校中退と語るジャンヌさんの、自ら学び・調べ・行動する姿



勢に大きな共感が寄せられました。

トピックス

□ 12月18日

対馬丸記念館が日本平和博物館会議の、第16回会議に於いて加盟承認を受けました。これは沖縄県平和祈念資料館の推薦を受けて申請がなされていたものです。

ご寄付

□ 10月14日



「海のトランペットをうたう」沖縄実行委員(源啓祐会長)から同

公演による寄付金を頂戴致しました。

□ 10月10日

神戸大学付属海事博物館長石田憲治様 当財団評議員のゆたかはじめさんが第3回神戸大学海事博物館主催の市民セミナーにおいて、対馬丸に関する講演を行った縁で神戸大学付属海事博物館石田憲治館長から上田毅八郎画伯の絵画「対馬丸」の複製を寄贈戴きました。

□ 2月20日

内藤啓子様

元宝塚のトップスター故大浦みずき(本名・坂田なつめ)さんの姉の内藤啓子さんと、マネジャーの兩宮敦子さんが、高良会長の大学の恩師で、兵庫県内の大学で名誉学長などを務める医学博士の吉岡済さんの案内で対馬丸記念館を訪れました。昨年病で惜しくも亡



くなられた大浦さんの別れの会に寄せられた香典の一部をご寄付くださるために東京と大阪からわざわざ来館されたものです。

橋渡しをして戴いた吉岡さんは、事あるごとに対馬丸に関心をよせていただいております。昨年、入院療養中の大浦さんを訪ね、対馬丸のことを話すと、大浦さんは「少しでも記念館に協力したい」という意志を持っていらしたと言うことです。「病が癒えたら、対馬丸で犠牲になった子供たちのために慰霊公演をしたい」。病床で、そんな言葉を残していた大浦さんの遺志を高良会長に伝えました。

□ 10月15日〜3月13日

大浦みずきさんのご冥福をお祈りするとともに、ご遺族ならびに関係者に深く感謝申し上げます。

高嶺初子、平良啓子、兵庫県沖繩友愛運動県民の会、石嶺博章、三ヶ月会渡嘉敷和子、上原妙、(株)MAP、池原蘭子、儀間真勝、比嘉康雄、やつとかメイト谷口成子、沖繩歯科インプラント研究会、喜瀬常子、白井光子、亀田厚子、亀田隼人、泊頭彰会、福田健、吉岡済、饒平名秀明、那覇中学校十七期三年八組、外間邦子、高良政勝 写真報告以外にも、以上の方々からご寄付を頂戴いたしました。心よりお礼申し上げます。